



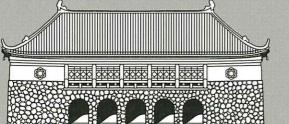
入場料／一般 800円(700円)
大学生以下・65才以上 500円(400円)
()内は20名様以上の団体料金

土曜日：高校生以下の児童・生徒並びに同伴の両親・教師の入場は無料
●ホテルオークラとのセット鑑賞券

喫茶券￥1500／食事券￥3000

観覧時間／10:00～16:30（入館は16:00まで）
会期中休館日はございません

「友の会」会員を募集しています。詳しくは電話にてお問合せ下さい



財団法人 大倉文化財団
大倉集古館

THE OKURA SHUKOKAN MUSEUM OF FINE ARTS

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3 (ホテルオークラ本館正面玄関前)

TEL03-3583-0781



宮園地下鉄 日比谷線 神谷町駅より8分
銀座線 虎ノ門駅より10分
銀座線・南北線 溜池山王駅より10分
南北線 六本木一丁目駅より8分

2002年1月5日(土)～1月27日(日)

大倉集古館

大觀「夜桜」展
／名作をめぐる人々／

Paintings of YOKOYAMA TAIKAN

Including : "Cherry Blossom Viewing at Night"
and Other Masterworks by Early 20th Century
Japanese Artists

The Okura Shukokan Museum of Fine Arts



「秋色」

わが国で最も著名な画家の一人、横山大観が昭和5年ローマ開催の日本美術展に出品した「夜桜」は70年を経た今日もなお至宝の輝きを放ち、人々の心を伝え続けています。 「夜桜」に「瀟湘八景」「山四趣」等当館の誇る大観の作品群を一堂に集め、併せて橋本雅邦、菱田春草などその周辺を彩った画家達の名品をご鑑賞頂ける好機となりましょう。 なお、鮮やかな極彩色の六曲一双屏風「秋色」(個人蔵) (大正6年第4回再興日本美術院展出品作)も特別出品され、一層の華やかさが添えられております。

展示作品

横山大観「秋色」大正6年 屏風六曲一双〈個人蔵〉

横山大観「山四趣」大正14年 4幅

横山大観「瀟湘八景」昭和2年 8幅

横山大観「夜桜」昭和4年 屏風六曲一双

横山大観「寒牡丹」昭和初期

横山大観「文鳥」昭和初期

横山大観「野菊」昭和初期

横山大観「羅漢松」昭和初期

横山大観「茶花」昭和初期

橋本雅邦「山水図」明治時代 屏風六曲一隻

菱田春草「雨後」明治34年

筆谷等観「春耕」昭和4年

齋藤満栄「蕭蕭」平成11年 ほか



「山四趣 雨」



「春耕」



「乾漆飾壺」



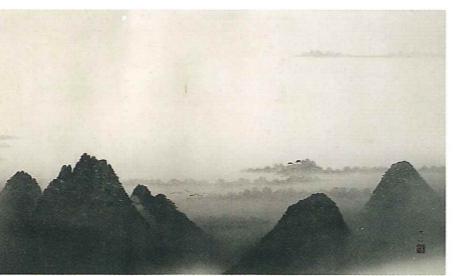
「雨後」



「瀟湘八景 山晴嵐」



「瀟湘八景 遠浦帰帆」



「瀟湘八景 洞庭秋月」



「瀟湘夜雨」



「瀟湘八景 煙寺晚鐘」



「瀟湘八景 漁村返照」



「瀟湘八景 平沙落雁」



「瀟湘八景 江天暮雪」

横山大観 (1868-1958)

明治元年水戸に生れる。本名秀麿。東京美術学校の第1期生として入学し、橋本雅邦らに学び、岡倉天心の薰陶を受ける。卒業後は菱田春草らとともに古寺を巡り古画の模写に従事し、母校の教授ともなった。明治31年、天心による日本美術院創立に参加し、以後院展、再興院展の主軸として活躍した。昭和12年第1回文化勲章受賞。日本画の伝統を基に、独自な視点を大胆に加えた、革新的な名品を多く遺し、社会的にも大きな影響力をもつ画人であった。代表作は「屈原」「無我」「生々流転」「夜桜」「瀟湘八景」「秋色」「或る日の太平洋」など多数。



「文鳥」

ローマ開催日本美術展とは?

大倉家第二代喜七郎(1882-1963)は、わが国初の私立美術館である大倉集古館を創設した父・喜八郎の遺志を継ぎ、館の発展にとどまらず、日本の美術界の活性化に寄与しました。なかでも近代日本画の動向には深い理解と関心を示し、援助を惜しませんでした。その美術における熱意の頂点ともいえるのが、昭和5年、イタリア政府の要請によりローマで開催された海外最初の日本美術展、即ち「ローマ展」の実現でしょう。

出品作家80名、作品総数約200展—横山大観、下村觀山、小林古径、前田青邨、竹内栖鳳、川合玉堂ら画壇の重鎮達が筆をふるって完成させた力作の数々が、喜七郎の全面的企画・後援をもって集められ、ローマの人々に熱狂的に迎えられました。

またこの展覧会は、運用を一任された大観の「日本画は日本の雰囲気の中で描かれるもの、観られるべきもの」という信念から、会場の内部を床の間や青畠、生け花までをも施した和風に改装した、まさに日本の空間を再現した中で行われ、1ヶ月でおよそ166,500人の入場者を呼ぶ大成功をおさめたと記録されています。

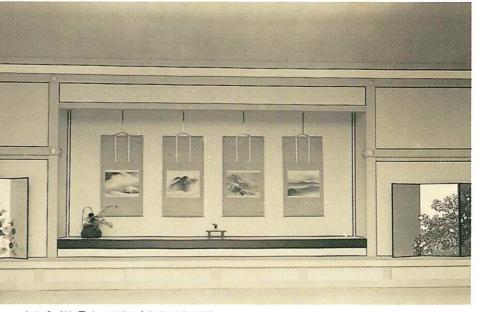
今回の展示の中心となる横山大観「夜桜」「瀟湘八景」をはじめ、この大事業の為に國の威信をかけて描かれた出品作は、今もそれぞれの画家たちの代表作に列ねられているばかりでなく、近代日本画の輝かしい時代を飾る名品として美術史上に大きな軌跡を残しています。



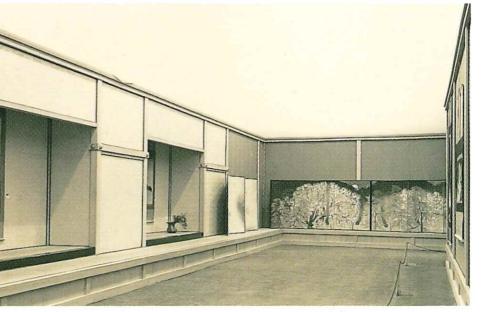
ローマ展開会式で挨拶をする横山大観



ローマ展会場にて(右から4人が横山大観)



ローマ展会場「山四趣」展示風景



ローマ展会場「夜桜」展示風景